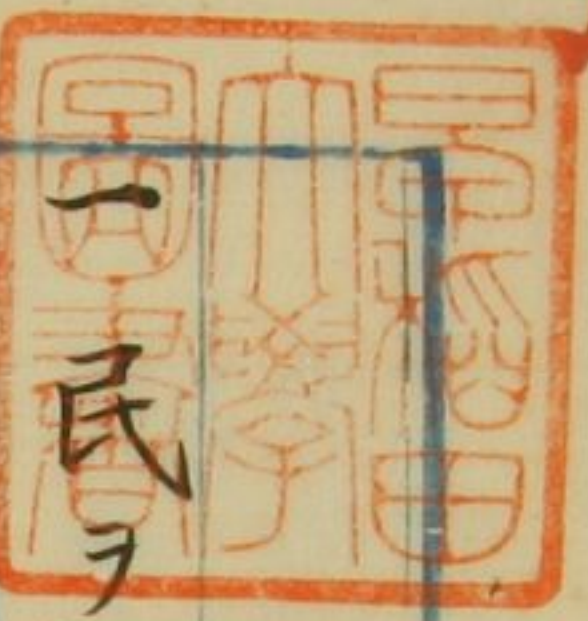


414
A 367

甲号



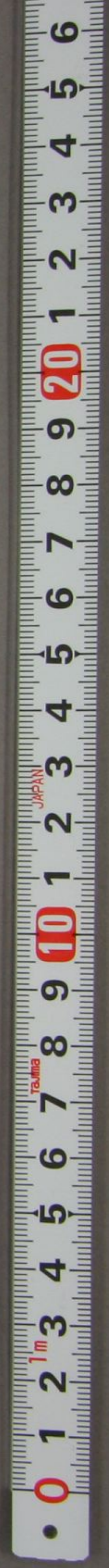
愚見十二條

一 民ヲ視ル一赤子ノ如シトハ古聖人ノ教ナレモ方
 今ノ時態ニ合セス其弊政府父母ヲ以テ自居リ
 政令変更勝手次第ナリ民ヲ視ル一大人ノ如
 クナルニ如カス

二 御誓文第一條廣ク會議ヲ興シ萬機公論ニ
 決スヘシトノ御趣意近頃烏有トナルニ近シ御
 省察アラシムヲ祈ル

三 御國律イマタ相立タヌ相立候分モ確定トスルニ
 足ラス外國居民約条ノ体裁ヲ御採用アラシム

大正十一年四月



ヲ祈ル

四 紙幣甚々多キニ過ク宜シク之ヲ減シ引替ノ道ヲ開キ民間ノ勝手ニ相場ヲ立サセ候様アリタシ併シ如此クセンニ容易ナラス到底御儉約第一急務ナラン今ノ姿ニテハ不義非道タルヲ免レス

五 徴兵令イマタ穩ナラス一体我邦ノ法ハ政府ニテ税則ヲ勝手ニ定メ万機ノ事請負ノ姿ナレハ此上人民ニ厄介ヲ掛ルハ不義ナリ政体ノ根本ヲ西洋流ニ改メスシテ末ハカリ西洋流ニスレハ

義理ニ差アリ多シ

六 外國條約改正ノ一ハ裁判ノ權ヲ御掌握相成ルマテハ精々旧ニ依ルヲ可トス

七 士族ノ祿ハ今ヨリ二十五年ヲ期シテ御廢絶然ルヘキカ

八 教部省ハ御廢シ教法自在ナラシメ内務省ニ社寺寮ヲ置キ統括ノ体ヲ存スル迄ニテ然ルヘキカ
九 文部省ハ御廢シ人民教育ノ事ハ地方官ニ委任シ内務省ニ督學寮ヲ置キ學制ノ大綱ヲ操持スル迄ニテ然ルヘキカ

十唐太ノ一ハ御断念然ルヘキカ

土博覽會ハ政府ノ義務ニ非ス是亦御止メ然

ルヘキカ

士大禮服ハ直垂ノ勝サルニ如カス

右狂妄ヲ顧スシテ之ヲ陳ス御一覽被下候ハ大幸
ノ至ニ候也

明治六年十一月廿六日 神田兵庫縣令

渡邊大蔵大丞殿